

かわぐち消化器内科

第14回 意外と多い虚血性腸炎



院長 川口 義明

急な腹痛(左下腹部痛のことが多い)
→下痢→途中から血便。このような経過が典型例である大腸の急性疾患に虚血性腸炎があります。夜中に発症し、翌朝に血便で心配になり受診される方が多いです。虚血とは血のめぐりが悪い状態のことで、腸の血のめぐりが悪くなり発症するのがこの虚血性腸炎です。原因としては動脈硬化、暴飲暴食、便秘などが挙げられますが、原因不明の場合も多く、幅広い年齢層で発症します。虚血が原因で粘膜が損傷を受け、粘膜が腸管壁からはがれ落ちる結果、腹痛、下痢、血便といった症状が起こります。軽症から中等症の場合が多く、血液検査での異常は少なく、CTやエコー検査で腸の壁が厚くなっている所見が診断の参考になります。確定診断のためには大腸内視鏡検査まで施行します。治療は多くの場合、腸の安静を図る保存的療法(絶食)で症状の改善が期待できます。



かわぐち 消化器内科

TEL **045-830-5311**

港南区港南台5-23-30
港南台医療モール3F

〔診療時間〕
午前9:00-12:00
午後16:00-18:00

〔休診〕
木曜・日曜・祝日
(土曜午後)



港南台駅
ドトール
ココス
すき家
幸楽苑
港南台駅入口

団地もめ
ハジスヨリ
GS

当院3F

